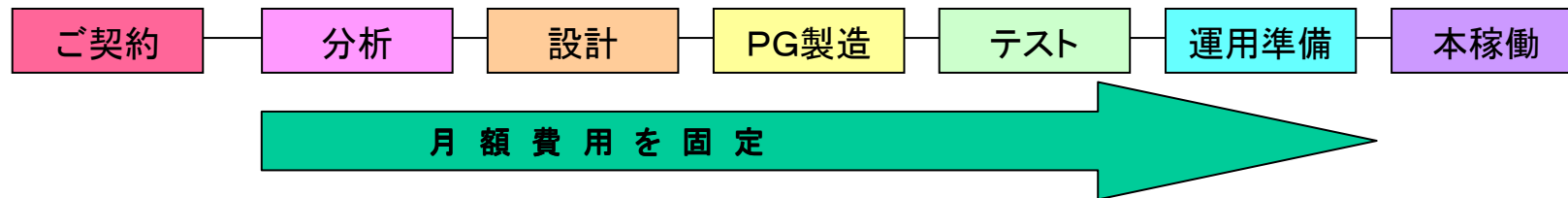


---

月額固定費用制 システム開発支援  
～ Step-by-Step Development (SbS D) ～

# 1. 「月額固定費用制 システム開発支援 ～Step-by-Step Development(SbS D)～」の概要

システム開発費用・スケジュールを月額費用と照らし合わせながら決定し、開発支援の形態でシステムを完成させます。契約は月次単位(3か月前に締結)となりますので、契約上大きな金額を必要としません。機能の追加やシステム間連携をアドオンする場合にも非常に有効です。

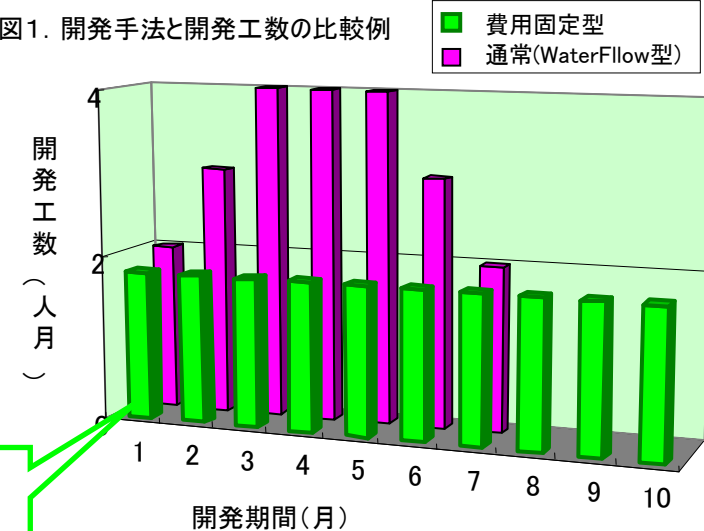


通常では、開発工数及び納期を取り決めて費用総額の請負契約書を交わします。従って大きな金額の計上が発生します。

SbS Dでは、月額費用に合わせた形で開発計画をご提案し契約しますので、少額の費用で計上できます。

更に、契約が月単位ですので、変更要望にも柔軟に対応ができます。

図1. 開発手法と開発工数の比較例



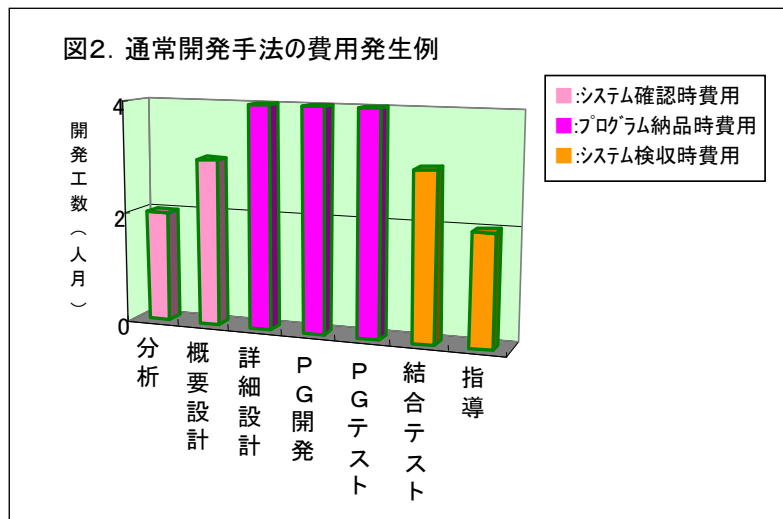
月次費用の契約

## 2. 「月額固定費用制 システム開発支援 ～ Step-by-Step Development(SbS D)～」の特徴

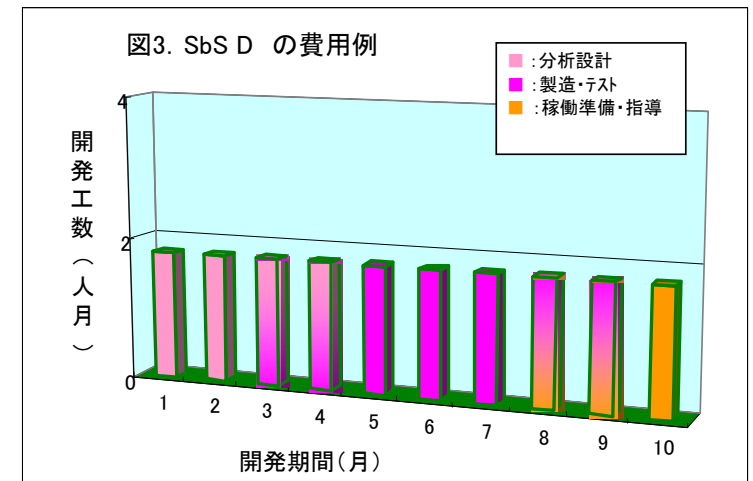
本ご提案の特徴は、「費用の固定化」、「明確な進捗・成果の把握が可能」、「計画の適宜調整が可能」。

### 2-1. 「費用の固定化」

本ご提案は、月額費用を前提に置き開発立案を行います。お見積もり段階においてシステムの推定総費用ご提示します。その上で月額費用とスケジュールをアグリーメントします。スケジュールはシステム製造フェーズによる開発社の判断ではなく、月額費用からご提示します。



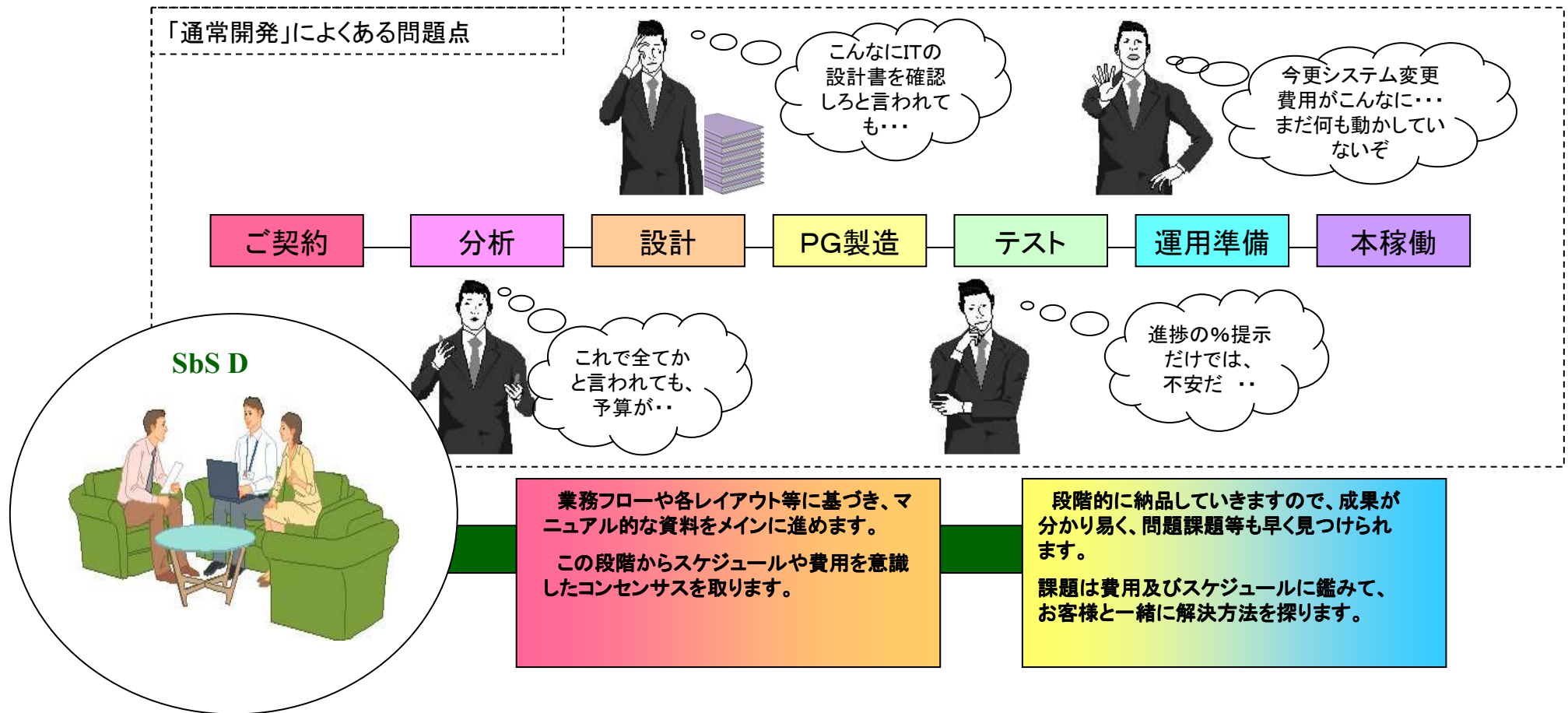
通常開発手法に比べて、工程が緩やかに遷移している。柔軟に対応してくれそうだ。



## 2-2. 「明確な進捗・成果の把握が可能」

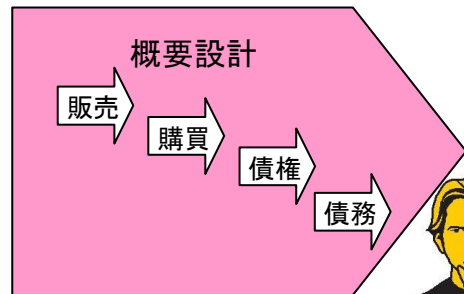
SbS Dでは、毎月の定例報告において次のご報告及びご提示を上級SEが行います。

### ①総スケジュールと工程別スケジュール進捗報告、②成果物のご提示とご説明、③課題・調整事項のご相談

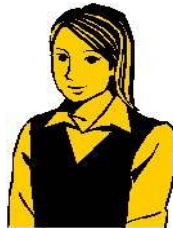


## 2-3. 「計画の適宜調整が可能」

月額固定費用制により、フレキシブルに開発の優先度や規模変更が行えます。

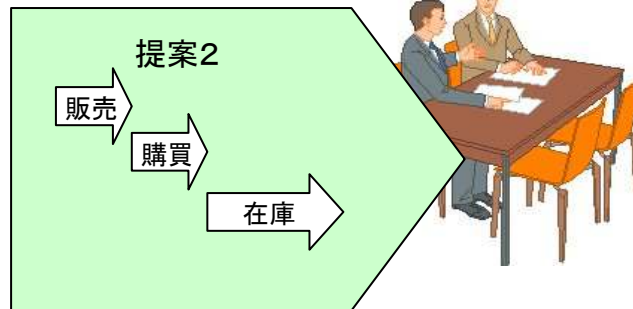
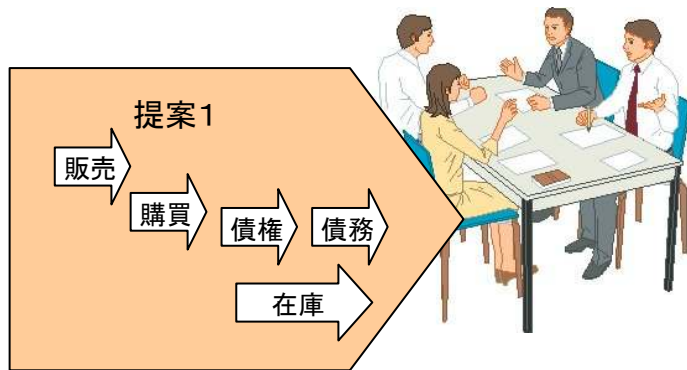


在庫管理を徹底する事になった。



分かりました。在庫管理STMが必要です。概要設計まで債権債務も続けさせてください。

以降は工数をあげてスケジュールを確保しますか、もしくは債権債務をペンディングしますか。



請負契約で多くの経験を積んでいる私共だから、柔軟に対応できます。

月額費用は変えたく無い。  
債権債務PENDINGして次期にまた頼む。



## 2. 「～ Step-by-Step Development(SbS D)～」の事例

### <総合システム>

開発費 2600万円

期間 28ヵ月

月額費用 56万円

(分析2ヵ月100万、稼働前4ヶ月200万)

特徴 オフィスコンピュータからオープン化

24ヵ月で基幹稼働



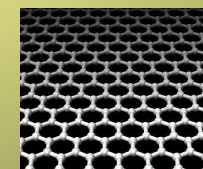
### <需要予測機能追加>

開発費 1200万円

期間 15ヵ月

月額費用 80万円

特徴 WEB開発、在庫連動



### <顧客管理機能強化>

開発費 600万円

期間 12ヵ月

月額費用 50万円

特徴 5ヶ月システム強化提案設計



豊富な実績で安心です。

SbS Dでは、月額費用に合わせた形で開発計画をご提案します。



---

## お問い合わせ先

E-Mail      [contact@systtr.co.jp](mailto:contact@systtr.co.jp)

TEL            03-5981-9101

FAX            03-5981-9102